

参加者の活動紹介 1 (伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 佐野木良生様)

弊社 (略称 CTC) は今年で創立 50 周年を迎えました。当初より、海外の優れた IT 製品をいち早く日本のお客様にお届けし、様々な課題解決のご支援を行ってまいりました。以来、技術は大きく進歩し、今ではインターネットや携帯電話、クラウドなどの IT インフラなども不可欠なものとなっております。

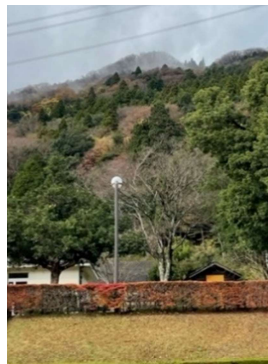
一方、近年ますます甚大化する災害や、プロジェクトのテーマでもある、海難事故、農業の生産活動に影響を及ぼす獣害などの被害低減に、IT がお役に立てるところは多く残されています。

現在私は、製造業向けの設計、シミュレーションなどのクラウドサービスをメインにしておりますが、これまで培ってきた IoT やそれらを支える通信技術など、お客様への提案活動の知見を通じて、本プロジェクトの活動にもご提案ができるよう、実証実験などの起案段階から参加させていただいております。

CTC コーポレートサイト <https://www.ctc-g.co.jp/>



送信機



駐車場より青葉山を臨む



青葉山登山道マップ

2022/12 青葉山実証実験の様子

参加者の活動紹介 2 (一般財団法人 宇宙システム開発利用推進機構 松岡 繁様)

舞鶴高専、テックス、伊藤忠とチームを作り数年前から防災に関する研究を進め、その成果を「まいづる未来の海プロジェクト」に反映しています。

現在までの状況：テック鈴木社長を中心に汎用中継器の試作品による東京湾を利用し 80km 送受信試験を実施。さらに Bluetooth による船舶から一定距離が離れたら緊急信号を自動送信する試験を継続実施中。船からの落水時の挙動等についても想定した状況で確認を行いその有効性を確認。現在この開発した送受信機を「獣害等および海陸共用のシステム」として新たな分野への適応性の検討に入りました。その一環として 12 月青葉山で通信 LTE の有効性評価を行いました。登山口に送信機を設置、子機を持ちながら登山を実施した結果、子機との通信の確実性を確認し、今後子機の小型化開発指針を得ることができました。次の課題は登山道移動の衛星測位の性能評価。上空視界は木々の茂みで覆われている状況で天頂近くに位置する準天頂衛星の利用によってどの程度の衛星測位が得られるか山中にいる害獣の位置捕捉の目安を得る検証を行う予定です。



船の利用による検証



登山道移動風景



青葉山実験チーム

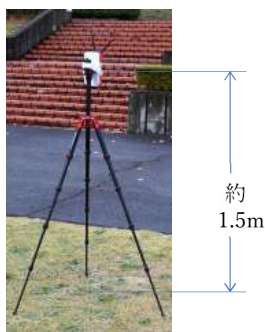
課題3 新たな課題について（舞鶴高専 内海康雄校長）

課題3では地域の課題について話し合いを行っており、その中で獣害対策が話題となりました。京都府では年間1.3億円の被害があり、舞鶴市でもサル、イノシシによる被害が多く、青葉山周辺に電柵設置、有害獣の駆除などが行われています。一方、青葉山を挟んで福井県高浜町と行政区を跨いで接しているため、双方の自治体の連携が必要です。

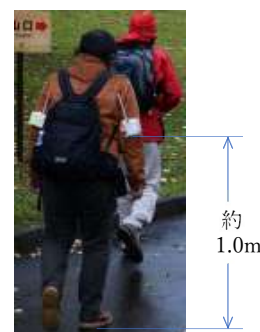
そこで、課題1のメンバーと話し合い、課題1で開発している位置決めシステムを対象獣に装着することを考え、「獣害対応・遭難等の万能救助システムUSRS (Universal Shared Rescue System)」を開発しています。また、両自治体の担当者に声がけて協働を実現しました。これまでに(一社)京都知恵産業創造の森の助成を頂き、12月2日に現地での実測調査を行い、良好な通信ができることを確認しました。



送信機 電源：単3 × 4本
青葉山ハーバルビレッジ駐車場に設置



受信機 電源：USB電源
腕に装着し青葉山に移動しながら受信



書評について 第1回（舞鶴高専 内海康雄校長）

書名 地域経済循環分析の手法と実践
日本政策投資銀行 Business Research 生産・分配・支出の三面から導く、新しい地域経済政策
著者名 DBJ BOOKs、日本政策投資銀行株式会社価値総合研究所著
出版社名 ダイヤモンド・ビジネス企画
出版年月 2019年7月

地域経済の強みと弱みを最大10まで自治体を組合せて、総合的に考える上で有効な手法を紹介している。ビッグデータを活用した新手法。企業城下町、観光都市、県庁所在地など7地域の実例を生産・分配・支出の3つの面から客観的に分析して、エビデンスに基づく政策立案の手法を紹介する。

政府が作成した解説もついてくるツール「地域経済循環分析自動作成ツール」は <http://www.env.go.jp/policy/circulation/> からダウンロードできる。

目次は以下のとおり。

- 第1章 地域経済の課題と地域経済循環分析
- 第2章 地域経済循環構造と地域経済施策の考え方
- 第3章 地域経済循環分析手法について
- 第4章 企業城下町の分析事例—企業城下町の明暗を分ける所得循環構造
- 第5章 観光地の分析事例—観光収入が地域の所得倍増に繋がっているか
- 第6章 県庁所在地の分析事例—真の地方再生は県庁所在地の再生
- 第7章 圏域（複数市町村）の分析事例

